



### 新しい年を迎えて

今年も、また、激動を予感させる年明けとなりました。

アメリカのトランプ大統領は、ベネズエラの国内へ無法にも侵入して大統領夫妻を拉致しました。さらに、デンマークの自治領であるグリーンランドを領有しようとしています。「買い取る」とは言っていますが、「関税」によるヨーロッパ諸国への圧迫や、軍事面での脅しもかけています。主権侵害といってもよいと思います。国際法を無視したこうした動きには、国際社会は一致して対応することが必要です。しかし、高市政権は何も言いません。

その高市政権ですが、1月10日付の読売新聞が報じたように、通常国会の冒頭に国会を解散するとしています。「今の時期になぜ？」という声があちこちから上がっています。公明党との連立を解消して日本維新の会との「連立」（閣外協力）に切り替えました。その時の協定の第1項が「議員定数の削減」でした。国民が望んでいるのは、この物価高の中で、どのように生活を立て直していくか、そのために政府は何をすべきか、という点にあります。そのためには国会での論議を通じてしっかりした経済対策を実行することが必要です。この機会を投げ捨ててまで国会を解散する、というのは、高市政権に国会で議論が進むと、都合の悪いことでもあるのか、と考えてしまいます。

2月8日に投開票の予定で、衆議院議員選挙が行われることになりそうです。前回の衆院選、参院選と続いて、自民党を少数に追い込んできました。この結果が改憲勢力には痛手となって、改憲発議のできない状況になっています。今度の選挙でも、憲法を守る勢力を前進させていくことが必要です。

ただ、先の自民・維新の協定にも改憲の方向が明確に記載されています。緊急事態条項の創設を手始めに、改憲の方向を進め、戦争放棄と戦力の不保持を定めた九条の改憲を強行しようとしてくる危険性が強まっています。

ことしも憲法を守り、生かしていく活動に取りくんでいきましょう。

(代田2丁目・伊東 宏)



坂本 道子

2026年

新年にあたって

年明け早々、アメリカが、と言うよりトランプの時代錯誤の暴挙に恐ろしさを憶えました。力さえ持てば何をやっても正義になる、何世紀にもわたり人々が命を懸けて培ってきた民主主義の歴史を破壊する思い上がりの極みです。

日本政府は、ことアメリカに対しては何の言葉も持たないようです。ロシアの侵略は批判するのに、ご都合主義には恥ずかしくなります。そして衆議院を解散？そうか、共通するのは自分勝手だということ！絶対に9条には手を付けさせない括弧を創り続けなければ！（代田1丁目・劇団東演・横川 功）

新年快樂～台湾問題でひとこと

自民党・高市首相は「台湾有事」について、存立危機事態になりうるケースと、答弁。この発言は1972年の日中共同声明で「確認された一つの中国」の原則を無視するものだ。

私は20歳の頃、合唱団で「我々一定要解放台湾～私達は必ず台湾を解放する～」や、「歌唱祖国～讃えよ祖国」などの歌を歌っていたが、分断国家の内政に干渉するものとは全く思っていなかった。

「全世界人民心一条～全世界人民の心はひとつ～」なのです（荒川）

（代田1丁目・荒川 興道）

軍事国家化とマイノリティ排除をこれほどあからさまに打ち出す政権が、これほど高い支持を得るなどという事態が、これほどあっさり現実になるとは……。

全盲・マイノリティの私は、この国の近未来に二重の恐怖を感じつつ、総理が叫ぶ「強さ」とは一見正反対の「平和主義」と「共生の追求」こそが、日本がしたたかに「咲き誇る」唯一の道であると、出会う人ごとに伝えていくことを、今年のささやかな抱負といたします。

## 謹賀新年

旧年中はたいへんお世話になりました。  
皆さまにとりまして幸多き年となりますよう  
お祈り申し上げます。 2026年 元日

見えたかい？

地を蹴り天馬



初空へ

（梅丘一丁目・真藤 一彦）

五つの大陸が平和に仲良く手を携えて4年に1回催すスポーツの祭典がオリンピックだ、と習った。

飢餓の子どもたち・恐怖の市民たち。「そんなことは知っちゃことじゃない」と、ネタニヤフもプーチンもオリンピック憲章から大きく外れてる。全世界がボイコットすべきだと思う。

（梅丘1丁目・湯沢 勉）

## 私が生きている間は戦争しないでほしい

福島和夫（世田谷・九条の会）

2026年、今年こそ穏やかな年の初めと思っていたところ、3日に飛び込んできたアメリカのベネズエラ襲撃のニュース。民間人を含む100人近くの死者を出し、一国の現職大統領を拉致するという前代未聞の事件がトランプ米大統領によって引き起こされた。国際法無視という国際世論の強い批判に対し、トランプ氏は、「私に国際法は必要ない、私を止められるのは私の道徳心ただ一つだ」とうそぶいたという。これまでの氏の振る舞いを見て来れば、彼の「道徳心」なるものには疑問符を付けざるを得ない。仮に人なりの道徳心を持っていたとしても、近代国家での「独裁」は決して許されるものではないが、氏の「ディール（取引）」での損益が第一という姿勢は、地球全体を破滅に追いやる危険性すら孕んでいることを、この間の多くの国際機関・条約からの離脱が示している。

情けないことに、このトランプと米原子力空母の艦上で満面の笑みを浮かべ、ハグし、飛び上がるようにはしゃいで見せたのが我が国の高市首相。米軍を前にしての挨拶で「日本の防衛力を抜本的に強化し、この地域の安定化に積極的に貢献していく」とトランプ武器商人を喜ばせた。この流れで行けば、あの予算委員会での「台湾有事は日本の存立危機事態になり得る」発言が出たのは至極当然かも知れない。偶発的にでも武力衝突事件が起これば、若い自衛隊員に「命を差し出せ」と出動命令を出すつもりなのだろうか。一度でも沖縄を訪れた人は、那覇空港から自衛隊の戦闘機が頻繁にスクランブル発進する様子を目にしていると思う。いったん火が付いたら止まらないのが戦争だ。その悪夢とも言うべき惨状をこの数年でも私たちはウクライナ、ガザほかで、嫌というほど目にしてきた。

その数日後、久米宏さんが1日に81歳で亡くなっていたことが報道された。彼が亡くなる前に語っていたことばがささる。「僕が生きている間は戦争しないでほしい」。この「僕の願い」を次の世代の「僕」に伝え、それが絶えなければ、戦争は防げるはずだ。

## 2026年 迎春

年が開けた途端に飛び込んできた、米トランプ政権によるベネズエラ侵略とマドウロ大統領夫妻の拘束のニュース。第二次世界大戦の大きな犠牲の上に築かれてきた、国連憲章と国際法を無視し、乱暴に踏みこむ侵略行為です。

ベネズエラの豊富な原油資源への野心であり、意に沿わない政権は力づくでも排除し自国権益の拡大をためらわない、帝国主義の復活が危ぶまれています。

国連や欧州連合(EU)、中南米諸国、米国議員からも批判が相次いでいます。高市政権はだんまりを決めているのでしょうか。年頭にトランプ大統領と電話会談後、笑顔でテレビに写っている姿からは、国民の暮らしや平和の願いをどう受け止めているのか全く見受けられませんでした。

自民党と維新の会の連立政権合意に「憲法9条改正」と「緊急事態条項」に関する「両党の条文起草委員会」を設置すること、「衆参両院の憲法審査会に条文起草委員会を常設すること」、などを明記しています。9条にとどまらず人権・民主主義が危機に立っています。ニューヨークに学び「対話」して「対話」して「対話」して危険な策動を阻止しましょう。（代田5丁目・小澤 清子）

明けまして  
おめでとうございます

2026年

戦争ではなく平和の準備を  
高市政権にはさようなら!!  
今年もよろしくお願ひします



代田4丁目

菅野 幸子

**寄稿**

代沢九条の会 松尾 弘

みなさん、新年おめでとうございます。

昨年に高市政権ができ、大変とっていたら新年早々にはトランプによるベネズエラの大統領夫妻のニューヨークへの強制連行が起き、世界のマスコミも右往左往しています。

残念ながら、平和憲法を持つ日本の政府、政治家のコメントは、アメリカに同調するものが多いことです。

今年も、このような状況をどのようにして立ち向かっていくべきか、早急に具体化して実践していくかと思いますが、まだまだ日本は全体的に腰が重いように思えます。

今年も、「のんびりできない年」を迎え、身が引き締まる思いです。

**寄稿**

2026年の「私の抱負」

My New Year's Resolutions!

九条の会まつばら 春木則夫

目を覆いたくなるような、耳を疑うような、己の今までの認識や良識が瓦解していくような世の中のニュース・情報にあふれた2025年と26年の年明けでした。例年のような「新年の抱負」が頭に描けなくなりそうな年明けでした。でもそれだからこそ「九条の会」の原点に立ち戻ることの大切さもひしひしと感じられる年明けでもありました。

地元「九条の会まつばら」の昨年末の世話人会議で以下のような活動の原点を確認しました。

- 地域へ「九条＝平和を次世代へバトンタッチ」の運動を示していく！
- 無理せず可能な取り組みを継続する！
- 新しい（世話人）担い手を真剣に探す、見つける取り組みを（本気で）模索する！

**政治談議・カラオケで盛り上がった代田・九条の会新年会**

1月11日（日）13時から、梅が丘の「ああ星董派」に置いて、代田九条の会新年会を行いました。途中から、中里光夫共産党区議（代田・九条の会会員）も参加され総勢8名でした。

政治談議では、1月3日のトランプ大統領のベネズエラの石油資源めあての侵略・マドウロ大統領の拘束、66の国際条約からの撤退等々国連憲章・国際法を無視した行為が進められていること。中国の日本に対するレアアースの輸出規制。第2次世界大戦時、日本が中国・台湾を植民地支配してきたことなど、高市総理は歴史認識がないのか？中国の虎の尾を踏んでしまった。マイノリティ差別は軍事国家に進む。マイノリティ講座を3回にわたってやっている。浅草7福神巡りをやった。ガザの子供たちが太って、ウクライナの子供たちが殺されることがないように。昨日のタモリ・山中伸弥先生のTVで日本人の集まること・不安症などの気質が、地殻の大爆発や地震の大きな影響を受けていること。昨年兄弟姉妹が亡くなって、改めて命の大切さを思い、戦争準備の日本政府にストップをかけないと等々。

カラオケでは、はじめに「周五郎小夜曲」（作詞・作曲湯沢 勉）を湯沢さんが熱唱。その後、

柳ヶ瀬ブルース、南部蟬しぐれ、シクラメンのかほり、人形の家等々懐かしい曲が唄われました。「井の頭線」の歌は下北沢駅や馴染みの駅が、映像と一緒に出てきてほっこりです。今年もよろしくお願ひします。

元気に頑張りましょう。

（代田5丁目 小澤清子）



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++